



Weronika Gęsicka, Untitled #5 from the Traces series, 2015-2017.  
Courtesy of the artist and Jednostka gallery

Theme of 2019

# VIBE

開催概要

名称: **KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2019**  
英語表記: KYOTOGRAPHIE International Photography Festival 2019

会期: **2019年4月13日(土) - 5月12日(日)**  
プレス向け内覧会: 4月12日(金)

主催: 一般社団法人 KYOTOGRAPHIE  
共催: 京都市(予定)、京都市教育委員会(予定)

メインスポンサー: ビー・エム・ダブリュー株式会社  
特別協賛: 富士フィルム株式会社  
プレミアムスポンサー: シャネル合同会社  
協賛: ルイナール(MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社)、株式会社マツシマホールディングス、ザディグ エ ヴォルテール、ハースト婦人画報社、他

※全てのプログラム内容・展覧会名・会場・スポンサーの情報は12月10日現在のものです、予告なく変更になる可能性があります。また後日追加情報を発表いたします。

お問い合わせ、取材のご依頼、掲載写真のご用命は  
下記までお問い合わせください。

KYOTOGRAPHIE 事務局 (2016年10月に下記住所に移転しました)  
Tel. 075-708-7108 | Fax. 075-708-7128  
〒602-0898 京都市上京区相国寺門前町670番地10  
<http://www.kyotographie.jp/2019teaser/>



京都で開催される写真フェスティバル「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2019」のプレスリリースをお送りします。貴媒体にて情報のご掲載やアーティストへの取材をご検討いただけますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

## KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2019 開催のご案内

### 第7回テーマ「VIBE」

国内外にて第一線で活躍するアーティストが、京都市内の  
趣きあふれる建造物にて新作や撮りおろしを発表

世界屈指の文化都市・京都を舞台に開催される、日本でも数少ない国際的な写真祭「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭」。国内外の重要作家の貴重な写真作品や写真コレクションを、趣きのある歴史的建造物やモダンな近現代建築の空間に展示する本写真祭も、回を重ねるごとに好評を博し第6回までに約56万人の方にご来場いただき、2019年に第7回目を開催する運びとなりました。

2019年のテーマは「VIBE」です。

VIBE—私たちの感覚を研ぎ澄まし、自身の中に眠る何かを揺るがし覚醒させるもの。

誰かに出会ったとき、作品と出会ったとき、ある出来事と対峙したとき、目に映らず、形を持たずとも、私たちの全身全霊にほとばしるもの。そしてもたらされる喜びも葛藤も絶望ですらも、私たちを新たな世界へと導くもの。

そんな、目に見えないものが繋がる時に生まれる共振や共鳴を伝えたい。KYOTOGRAPHIE 2019は、誰しもの中に在る「VIBE」を呼び覚まします。

KYOTOGRAPHIE 共同創設者 / 共同代表  
ルシール・レイボーズ & 仲西祐介

サテライトイベント  
「KG+(ケージープラス)」では  
市内約60箇所での写真展が集結



国内外から写真・アート関係者が多く来京するこの時期にあわせ市内各所のギャラリー、カフェ、教育施設など約60カ所が同時多発的に開催する写真展は、サテライトイベントKG+(ケージープラス)として集結します。最優秀出展者に与えられるKG+AWARDは、若手写真家の登竜門となるべく海外からも注目される賞となりつつあり、次年度のKYOTOGRAPHIEへの参加など、次代を担うアーティストへ継続的な支援を行います。

### プレス担当

須田千尋 (CHIHIRO SUDA INC) | PRディレクター東京オフィス  
chihiro@chihirosuda.com  
市川靖子 | PR東京オフィス  
yasuko.ichikawa@kyotographie.jp  
木薮愛 | PR京都オフィス  
ai.kiyabu@kyotographie.jp

# プログラム

## EXHIBITIONS

※全てのプログラム内容・展覧会名・会場・スポンサーの情報は12月10日現在のもので、予告なく変更になる可能性があります。また後日追加情報を発表いたします。

1. イズマイル・バリー | Ismail Bahri (フランス・チュニジア)

2. ヴェロニカ・ゲンシツカ | Weronika Gęsicka (ポーランド)

3. 金氏徹平 | Teppei Kaneuji (日本)

4. 顧 剣亨 | Kenryou Gu (中国)

5. ベンジャミン・ミルピエ | Benjamin Millepied (フランス)  
supported by Zadig & Voltaire

6. Magnum Live Lab in Kyoto presented by FUJIFILM

a. 岡原功祐 | Kosuke Okahara (日本)

b. パオロ・ペレグリン | Paolo Pellegrin (イタリア)

7. Pierre Sernet & SHUNGA presented by CHANEL NEXUS HALL

a. ピエール・セルネ | Pierre Sernet (フランス)

b. 春画 | SHUNGA (日本)

8. アルバート・ワトソン | Albert Watson (アメリカ・スコットランド)  
presented by BMW

9. Cuba through the Art and Life of Three Photographers

a. アルベルト・コルダ | Alberto Korda (キューバ)

b. ルネ・ペーニャ | René Peña (キューバ)

c. アレハンドロ・ゴンサレス | Alejandro González (キューバ)

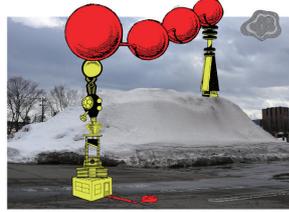
10. ルイナル展 | Ruinar Exhibition (フランス)  
presented by Ruinar



1  
Ismail Bahri, Line, 2011, HD video, 16/9, 1 min loop



2  
Weronika Gęsicka, Untitled #5 from the Traces series, 2015–2017. Courtesy of the artist and Jednostka gallery



3  
Teppei Kaneuji, Games, Dance & the Constructions (Snowplow) #3 © Teppei Kaneuji



4  
Kenryou Gu, Utopia\_i\_004, 2018 © Kenryou Gu



5  
Benjamin Millepied



6  
Magnum Live Lab in Kyoto  
Kosuke Okahara & Paolo Pellegrin



6a  
Kosuke Okahara, Ibasyo, Self mutilation among young people in Japan, 2007 © Kosuke Okahara



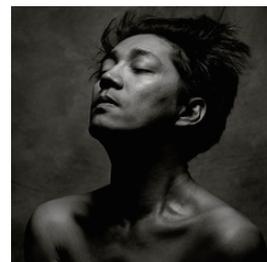
6b  
Paolo Pellegrin, Antarctica, 2017 © Paolo Pellegrin/Magnum Photos



7a  
Pierre Sernet, Kaitlin & John 2015 © Pierre Sernet



7b  
漢斎英泉『春野薄雲』文政5年(1822) 浦上満氏蔵



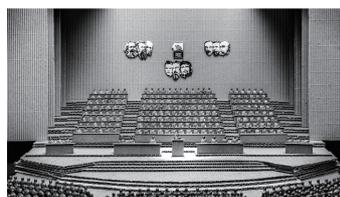
8  
Albert Watson, Ryuichi Sakamoto, New York City, 1989  
Photo by Albert Watson



9a  
Alberto Korda, Norka in Studios Korda, La Habana, 1958.  
© Alberto Korda



9b  
© René Peña courtesy of the artist.



9c  
Alejandro Gonzalez, From the Series Re-construction. The Gray Five year period. 1975; 2015



10  
Liu Bolin × Ruinar, y gion, 2018